

第 2 回全体会で出た意見等まとめ

テーマ：地域コミュニティのしくみづくりについて

※太字や文字ポイントが大きいものは似た意見をまとめたもの

地域コミュニティ連絡協議会について

組織体制

- ・部会の組織体制が一つの例という表現が不足している、ネットワーク型もある
- ・今ある組織とは別に新たに組織を作らないといけないのか、既存の団体にも様々な団体が入っている組織もある
- ・既存の団体を活かして協議会をつくるのが良いと思う
- ・地域診断をして地域それぞれに合ったやり方をした方が良い
- ・協議会を設立すると将来的に既存の組織をなくしていかないと二重組織になるのではないのか
- ・みんなが自治会に入ったり、既存の組織を充実させれば、協議会は要らないのでは
- ・同じ小学校区の中でも住んでいる地域ごとに課題が違うので、協議会にまとめるのが大変
- ・社協と協議会是一体的に進めていかなくてはならないのではないのか
- ・協議会の部会と行政の縦割りとの関係はどうなるのか

役員

- ・協議会を新たに作っても既存の団体の役員が協議会と重複することとなり負担が増えるのではないのか
- ・地域全体をどう盛り上げていくのかがリーダーシップを執る人で変わってくると思うので一番適任な人を自分たちで選ぶことが大事、そしてリーダーを支えるサブリーダーが 3~4 人いればなお良い
- ・協議会の会長や事務局がいろんな部会・団体との調整役となるので重要になってくる
- ・新しいメンバーが見つかるか良いか地域にいるのか疑問

アプローチの仕方

- ・取り組もうと思わないところへのアプローチはどのようにするのか、「取り組もうと思った時にご連絡ください」ではダメ
- ・コミュニティができていない地域に協議会をどう勧めるのか
- ・若者からまちをどうしようという話が出て進めた結果協議会ができた
- ・説明会の始め方はどのような流れで行っているのか

まちづくり計画

- ・まちづくり計画策定をサポートしてくれる事務局が大変ではないか、地域にいないのではないのか
- ・協議会立ち上げに向けて、どうやって小学校区の人を集めれば良いのか
- ・ワークショップで出た意見をまとめることができるような人が地域にはいないのではないのか
- ・まちづくり計画は、協議会で活動していくために必要なものなのか
- ・ワークショップで回を増すごとに人が減っていかないか不安
- ・協議会設立までの話し合いの回数が多く大変、毎回モチベーションを保てるのか
- ・協議会設立までの会議に係る必要経費はどこが負担するのか
- ・まちづくり計画を策定してから、各年度の事業計画へのつなぎ方が難しい
- ・今まで地コミで開催されていたわがまちみらい工房との関係はどうなっているのか
- ・まちづくり計画のひな型を見せてほしい
- ・まちづくり計画のひな型を作ってしまうと、そのマネをして考え方が縛られるのではないのか
- ・社協の小地域計画と協議会のまちづくり計画を別々に進めるのは良くない
- ・ワークショップのやり方も地域によって違うのではないのか
- ・準備委員会に行政に入ってもらいたい
- ・準備委員会はどのような人が集まって、何をするのかわからない

その他

- ・よく説明で使われる「地域」という言葉が何を指しているかわからない
- ・全世帯を把握できるのは民児協である、例えば、自治会未加入者も存在する中で、協議会で全ての世帯をカバーできるのか
- ・産業振興はまちおこしになるが地域性がある
- ・協議会設立を進めていく地コミの職員が足りないのでは、多くの地区から声が上がった時に対応しきれないのではないのか
- ・ネットワーク会議で団体だけでなく町内のつながりができている
- ・「小学校区」の定義がわからない

第2回全体会で出た意見等まとめ

交付金について	その他
<p>対象となる事業・経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存補助金の自己負担分として交付金を使いたい ・対象外の経費ってどんなものがあるのか ・業者に委託しても交付金の対象となるのか ・新規事業しか使えないのであれば、負担が増えるのではないのか ・主催者が協議会でなければ交付金の対象にならないのか ・事務局費は重要になると考えるが上限はあるのか ・新規事業は対象になるのかならないのか今の説明ではわからない 	<p>周知不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会未加入者が多い地区は、このしくみのことを知らないのではないのか ・地域説明会の周知は、連合自治会→自治会→班の流れで行っている地区は一般家庭へは届いていないのではないのか ・地域の理解が不十分ではないのか ・協議会の活動を住民に周知するのが大変
<p>申請手続き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付金を交付されるまでの流れがよくわからない ・交付金受給までに、まちづくり計画と事業計画の2段階のステップが必要という説明が不足している ・事業計画は誰が承認するのか ・交付金申請時に事業自体は否定しないでほしい ・交付金の申請窓口はどこになるのか、窓口がバラバラだと申請事務が煩雑になる 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で一大イベントが開催できると、地域がまとまるきっかけになるのではないのか ・本しくみの目標は、人と人の絆を実感できるまちづくりではないのか ・各種団体が集まることで、新たなアイデアが生まれるのではないのか ・本しくみは、地域の自立の可能性が広がるのではないのか ・職員も住民としてがんばるべき ・自治会加入を条例化すべき
<p>繰越制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度内に事業ができなかったり、年度をまたぐ事業は繰越が可能か 	<p>金額の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間あたり2億円という金額は妥当な金額なのか ・協議会を運営、活動していくのに上限額は妥当な金額か ・基礎割設定の根拠がわからない、何もしなくてももらえるものなのか <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付金をもらう以上、悪いことをした場合の罰則が必要ではないか ・交付金が交付されると、地域の格差が広がるのではないのか ・会長の権限で予算分配がされてしまうのではないのか ・協賛金を集めなくなるのではないのか
<p>既存補助金等の一元化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存補助金等との一元化は難しいのではないのか ・それぞれの団体に交付されている既存の補助金等の総額はいくらか ・一元化された場合、予算が削減されるのではないのか ・交付金が一元化された場合、行政の縦割りとの関係はどうなるのか 	